

★今月はフィラリア感染症のおさらいです★

～フィラリア症って？～

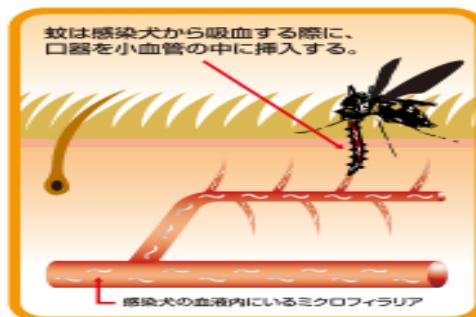
○蚊が媒介する病気です

○放置すると死に至る場合もあります。

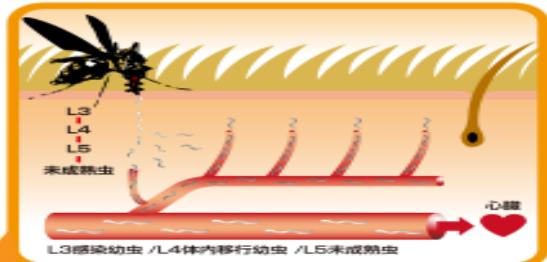
○フィラリアが肺動脈や心臓に寄生することにより発症します。



犬フィラリアの蚊への感染



犬フィラリアの犬体内における発育



犬フィラリアの発育段階	存在場所
L1 ミクロフィラリア	感染犬の血液中 ⇒ 蚊
L2 第2期幼虫	蚊の体内
L3 感染幼虫	蚊の体内 ⇒ 犬の体内(組織)
L4 体内移行幼虫	犬の体内(組織) 予防薬はL4段階で100%駆除
L5 未成熟虫	組織 ⇒ 血管内
成虫	肺動脈・心臓

犬の体内における犬フィラリアの発育

- L3は3～10日で脱皮して体内移行幼虫(L4)になる。
- 体内移行幼虫は、組織内で発育し、犬への感染後70日前後で未成熟虫(L5)になる。
- 犬への感染後約120日前後で未成熟虫は血管内に侵入し心臓および肺動脈へと移行する。

※フィラリア症の予防薬の投薬前には検査が必要です！！

お薬の種類



カルドメックチュアブル

昔から病院で取り扱っている
ジャーキータイプの食べる
お薬です。安全性の高いお薬。



プロハート

注射タイプのお薬です。
6月に1回注射するだけ！投薬を忘れてしまう
飼い主さんにおススメ！



アドボケート

スポットタイプの首筋に
たらして使うお薬です。
なかなか食べてくれない
という子達におススメ★



ネクスガードスペクトラ

フィラリアとノミ・ダニなど
が一緒に駆虫できるジャーキータイプの食べるお薬。
一番人気です！



いつから予防したらいいの？



6月から12月までの7ヶ月間の毎月1回、



1ヶ月間隔で駆虫することにより予防できるよ。

(注射で予防する場合は6月に1回打つだけで1年間予防できます。)

蚊が発生したらすぐにお薬開始しなくていいの？



蚊が活動して1か月後に投薬する薬で、



それまでに感染した幼虫を駆除する事が出来るよ。



冬になると蚊はいなくなるよ！12月まで飲むのはなぜ？

フィラリアの薬はフィラリアの幼虫が入ってこないように

したり、蚊に吸血されないようにする薬ではいんだ！



蚊が見られなくなっても、それまでに体内に入ってしまった
フィラリアの幼虫が残っている可能性があるから、

最後まで投薬が必要なんだよ。

倉重先生のコラム



フィラリアの成虫が心臓や肺動脈に寄生することで様々な症状が出ます。

呼吸が荒くなったり、咳が増えたり、血尿をしたり、元気や食欲が無くなることで気付かれます。症状が出ると治療は極めて困難で危険を伴うため、予防することが最善策と思われます。フィラリアはしっかり駆虫することでほぼ100%予防できますので、是非ご相談ください。